

親あるあいだの語らいカフェ

# 不登校・ひきこもりを 考える座談会



年の瀬が迫る今回は、「親あるあいだの語らいカフェ」の根本にかかわるテーマを考え合い、語り合いたいと思います。

ずばり、「親はわが子に何をのこせるか？」。

できるだけよい教育の機会を与えたいと願うのも、経済的に安定した仕事についてほしいと願うのも、変化が激しく先行きの見通せない社会において、わが子の将来を案じてのことでしょう。

また、わが子が障害をもって生まれてきた場合や、引きこもり生活が長期にわたる場合も、「親なきあと」のわが子の生活がどうなるのかと不安を口にされる方が多くいらっしゃいます。

親には親の人生がある。子どもは子どもの人生を生きる。

この事実をふまえたうえで、親にできることは何なのでしょう。



講師・相談員 **渡邊 充佳**

1983年生まれ。2008年7月より約9年間、兵庫県川西市の人権救済機関「川西市こどもの人権オンブズパーソン」相談員として、学校生活や家族関係に悩む子どもの声を聴き、問題解決を支援してきた。

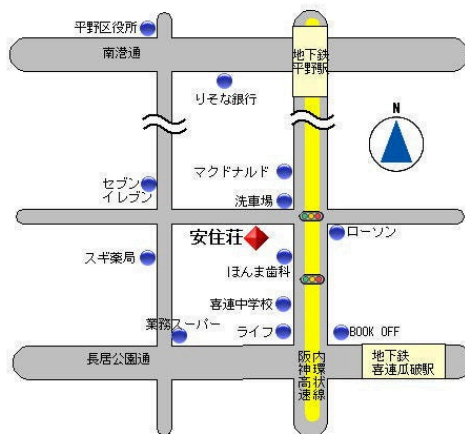
その後、短大教員、放課後等デイサービス職員を経て、2023年11月より、「こころ・からだ・くらし相談室ハルジオン」を開設。

社会福祉士・公認心理師。

**12月18日(水) 14時～16時**

**あかんのん安住荘**

(大阪市平野区喜連西5-4-14)



**参加費無料・申込不要**

参加者同士で語り合うのもOK  
相談員と個別に話すのもOK

※希望者多数の場合、個別対応が難しい場合もあります。



お寺と教会の  
親なきあと相談室 あかんのん安住荘支部 ☎ 06-6796-7260

第5回  
親はわが子に何をのこせるか？